

令和2年度の教育目標と 教育長・教育委員からお伝えしたいこと

磐田市教育委員会の目標

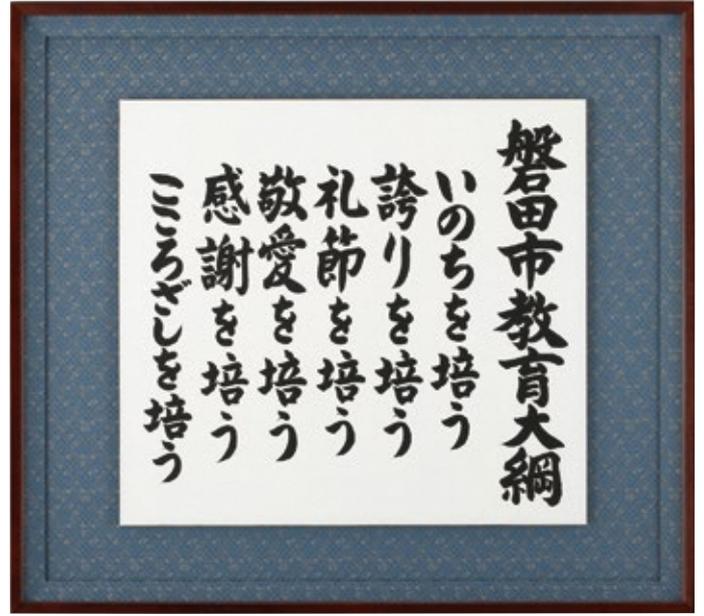
「ふるさとを愛し、未来をひらく、心豊かな磐田市民」

「子育て、教育なら磐田」と誰もが実感できるまちづくりを下記のとおり目指します。

かけがえのない命を精一杯生き、ふるさとの先人たちが築きあげた磐田の大地に根を張った人づくりの精神と伝統文化を未来へ継承し、生涯にわたり社会を生き抜く力を育成します。

さらに、学校・地域・家庭の連携・融合による学府を核とした新時代の教育コミュニティを形成し、次代の社会をつくる学びの場を創造します。

本市の未来をひらく礎となる基本理念「教育大綱」へは、「[磐田の教育]道しるべ」と、子どもたちの成長を育む「磐田市子ども憲章」により進むべき方向が示されています。学校・地域・家庭への浸透を目指します。



- ### 「磐田の教育」道しるべ
- 一、かけがえのない命を精一杯生きること
 - 一、自分のよさを誇りとし自信をもって行動すること
 - 一、美しい立ち居振る舞いと温かな言葉づかいをすること
 - 一、勤労・勤勉を喜びとすること
 - 一、真善美に照らし正しい判断をすること
 - 一、大志を抱き困難を乗り越えること
 - 一、敬愛の心を持ち家族を大切にすること
 - 一、感謝の気持ちは「ありがとう」と素直に伝えること
 - 一、年長者を敬い年少者を慈しむこと
 - 一、寛大な心をもって人を愛し許すこと
 - 一、郷土愛をもって伝統文化の継承を行うこと
 - 一、宇宙・自然への畏敬の念をもつこと

平成二十六年三月策定



「みんな仲良く」

日本では、令和となり、新しい時代の息吹が感じられ、教育界は大きなターニングポイントを迎えています。戦後75年、今までにない大きな変化で、我々の生活にAIが深くかわり、身の回りのいろいろなものが変化します。その中で、危惧するのは、人間関係が希薄化し、人間が人間として生きていく規範や人間性そのものが失われつつあることです。

今大切なことは、人と人のつながりやかかわりであり、地域や学校で「子どもたちの心」を育てることが、この転換期に何よりも重要になってきます。授業を大切に「学力の保障」は当然のことながら、「磐田の教育」道しるべにもあるように、「ふるさとを愛する優しさ、未来をひらく強さ、豊かで愛情溢れる心」を育てることを求めています。

磐田市は、素晴らしい歴史や文化、伝統をもとに、学府一校づくりを展開しています。小中一貫教育、コミュニティスクールを通して、コミュニケーション能力を身に付け、教育の質を地域の皆様方と共に向上させていきます。そのためには、いじめや虐待には見ることができない、人として大切にしたい人間性の向上に努めます。原点に戻り「みんな仲良く」の精神で、子どもたち一人一人を大切に、いのちを培い、「たくましい磐田人」を育てます。



磐田市教育長 村松啓至

令和2年度磐田市教育委員会の計画体系と主要な事業

教育委員会の目標

「ふるさとを愛し、未来をひらく、心豊かな磐田市民」

方針1 子どもの「生きる力」を育みます。

「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」を育成し、「生きる力」を育む、魅力ある園(教育・保育施設)・学校づくりを推進します。

また、一人一人の個性を活かし、「個」に応じたきめ細かな支援・指導の充実により、子どもの「生きる力」を育みます。

方針2 子どもの成長を支える「地域力」をさらに活用します。

ふるさとへの誇りと愛着をもつ子どもを地域全体で育てていくため、磐田市の資源を十分に活用するとともに、「遊ぶ力を養うための遊びの場」について検討していきます。

また、子どもの読書環境を充実させ、生涯にわたって読書を楽しむための読書習慣を身に付けることを目指します。

方針3 市民が活用しやすい「学びの場や環境」を整備します。

子どもが安心して学び、遊べるよう、学校施設の安全を保ち、経済的な理由から就園・就学が困難であったり、特別に支援が必要であったりする子どもの保護者への支援を行います。

また、市民が活用しやすく、主体的に学べるように図書館サービスの向上、歴史遺産の整備活用や歴史文書館における公文書の適切な管理を目指します。



施策1 魅力ある園・学校づくりの推進

小中一貫教育、コミュニティ・スクール(学校運営協議会)、ICT機器の活用、学府一体校等新時代の新たな学校づくり、食育及び安全・安心な学校給食、食物アレルギー対応、園や小・中学校の子ども及び教職員の交流、主体性を大切にした環境を通して行う保育

施策2 「個」に応じたきめ細やかな支援・指導の充実

スクールソーシャルワーカー、通級指導教室、不登校等対応、要保護児童等対策協議会(こども未来課所管)、関係機関(医療機関等)との連携

施策1 地域の学習資源を活かした教育活動の推進

ジュピロ磐田ホームゲーム小学生一斉観戦、ジュピロ学校訪問、歴史教室

施策2 子どもを健やかに育む地域づくり

青少年健全育成、人権教育、放課後児童クラブ

施策3 家庭、地域、園・学校における読書活動の推進

茶の間ひととき読書運動、学校・園・その他関連施設との連携によるおはなし会

施策1 学校施設などの安全・充実

小中学校特別教室等へのエアコン整備、ながふじ学府一体校整備、公立園の再編・再築(一部公立園の民営化移行準備)

施策2 就園・就学のための経済的支援

就学援助費、特別支援教育就学奨励費、幼児教育・保育の無償化、私立幼稚園運営費補助

施策3 図書館サービスの向上

図書館資料の充実、電子書籍サービスの推進、イベントや講座の充実、ボランティア等の育成

施策4 歴史遺産の整備・活用

文化財の調査・保存・整備・活用、伝統行事の継承支援

施策5 生涯学習・スポーツ・文化芸術活動の環境整備

交流センター講座、「学びの師」や「学びの友」による情報提供、磐田スポーツ部活の運営、東京オリンピック・パラリンピックのキャンプ地受け入れや機運醸成活動、青少年を対象とした文化芸術の育成

教育委員からのメッセージ

ある学校運営協議会で「お箸や鉛筆の持ち方を学校の先生が教室で教えているのには驚いた」と話が出ました。接拶の仕方、靴の揃え方等かつては家で教えられたものです。最近女性の社会進出は当然となり母親の多くは家庭外で活躍されておられます。しかし、次の世代を担う人材育成という母親として最大の社会貢献を忘れていないように感じてしまうのは私一人でしょうか?ぜひ今一度家庭教育の重要性を考えてほしいと思います。



教育委員
青島 美子

子どもたちには、自分の人生を主人公として、しなやかでたくましく生き抜く力を身につけてほしいと思います。主人公とは奇をてらったことを行うのではなく、無理に人と違うことをするでもなく、無理に人と同じことをすることでもなく、柔軟に生きることが個性的なことであると考えます。地域の大人や、教師からの和顔愛語(わげんあいご)は人生における困難にぶつかったとき、それに立ち向かう力となり、子どもたちも穏やかな顔で優しい言葉をかけられる大人に育つことでしょう。



教育委員
鈴木 好美

『磐田の教育』の教育目標に、「ふるさとを愛し」…があります。目指すところ、先ず『確固たる個の確立』にあるとすると、子ども達一人一人の心の中に「自らのふるさと」をしっかりと築くことだと考えています。「ふるさと」は、人としての命の連続(縦軸)／人間としての自然や社会的連携(横軸)の交差する中心に位置する、今在る自分(アイデンティティ)、即ち「自らの生存の基盤」を自覚させてくれるからです。



教育委員
杉本 憲司

少子化や都市化が進み、子どもの遊び場所や仲間、遊ぶ時間が限られてきています。また、交通事故や犯罪への心配により、外で元気に遊び回る子どもの姿を目にする機会もめっきり減ってきています。子どもは、遊びを通して体力やコミュニケーション力、知恵や問題解決能力など、多くの生きる力を育むことができます。我々大人は、子どもが自分の意志で自由に遊ぶことができる場所や時間を大いに確保してあげたいものです。



教育委員
秋元 富敏

磐田市教育委員会から皆様へ これまでしてきたこと、していること、これからのこと (令和2年4月現在)

1. これまでに進めてきた主な事業

(1) 教育施策と学校教育

- ①小中学校への「ふるさと先生」の配置 ～市費負担教員による35人学級の実現～(H17～H29)
- ②学校(福田中・豊浜小・菟洋東小)校舎屋上への津波避難階段の設置(H24)
- ③校務支援システム(H24指導要録・通信票・出席簿等、H30超過在校時間の管理)を導入
- ④小中一貫教育を全10学府(中学校区)で実施(H24～段階的に、H28～全学府で実施)
- ⑤小1～中3までの「英語」モデルカリキュラム作成(H25)
- ⑥全小中学校の校舎耐震化が完了(H26)
- ⑦全小中学校をコミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)に指定(H27)
《R1は、4人の学府ディレクターと23人のコーディネーターにより地域と共にある学校を推進》
- ⑧磐田北小学校プール施設の改築(H29)
- ⑨磐田北幼稚園園舎の改築(H29)
- ⑩磐田市アレルギー対応の手引きの作成(H29)
- ⑪LD(学習障害)等通級指導教室の拡充(H30)
- ⑫磐田なかよしこども園の開設(H30新築工事、R1保育開始・園庭整備)
- ⑬小中学校の施設整備(H30～R1体育館照明LED化、R1トイレ暖房便座化・普通教室エアコン設置)
- ⑭ラグビーW杯に合わせた国際理解の促進(R1)
- ⑮放課後児童クラブの施設拡充《利用人数は、利用対象を全学年に拡大したH27年4月の1,045人からH31年4月は1,566人へと増加》
- ⑯「ふるさと礎プラン」
～校長経験者4人による若手教員へのサポート体制の構築～



磐田なかよしこども園 園舎の様子
(平成31年4月開設)

※将来を担う子どもたちのために市全体で取り組む事業

- ①ジュビロ磐田ホームゲーム小学生一斉観戦
《全小学5・6年生約3,100人》
- ②広島平和記念式典への小中学生派遣
- ③海外への中学生派遣
- ④家庭教育と青少年支援の充実



ジュビロ磐田ホームゲーム小学生一斉観戦

(2) 図書館と文化財

- ①電子図書館による貸出サービスの開始(H29)
- ②中央図書館へのWi-Fiの設置(H30)
- ③英語多読・健康医療情報コーナーの設置(H30)
- ④国立国会図書館視覚障害者用データサービスの利用開始(R1)
- ⑤ブックスタート事業・茶の間ひととき読書活動
《乳幼児期からの読書推進》
- ⑥デジタルデータベース閲覧サービス提供
(国会図書館、法律情報、新聞記事)
- ⑦文化財・民俗資料等保存活用啓発事業
《訪問歴史教室や施設見学・講座の開催》
- ⑧指定文化財保存事業
《修繕費助成、調査及び指定、民俗文化財の映像化》



磐田市青少年健全育成スローガン



ふるさと歴史たんけん隊

2. 現在進めている主な事業

(1) 教育施策と学校教育

- ①食物アレルギー対応の拡大(H24～段階的に実施)
- ②小中学校の防災機能(外壁改修・照明器具等落下防止)強化(H26～R3)
- ③給食材料への地産地消の拡大(H29～)
- ④ICT機器(大型モニター・書画カメラ・タブレット等)の整備による「わかる楽しい授業」の推進《小・中学校全学級へ導入》(H29～R2)
- ⑤学府バスの運行拡充《小中一貫教育のさらなる推進のため7台を運行》(H29～)
- ⑥ながふじ学府一体校建設工事(R1～R3)
- ⑦小中学校のパソコン室、図書室エアコン設置
- ⑧スクールソーシャルワーカーの配置
- ⑨市費負担教員の配置による小中一貫教育の推進と生徒指導の充実
- ⑩S.P.E.A.Kプロジェクト《中3対象に、市ALTが外部試験に代わり英会話の力を調査》
- ⑪修学旅行英会話学習
- ⑫小学校低学年に対する「英語」モデルカリキュラムとモジュール学習の実施
- ⑬教育支援員の配置《子どもへのきめ細かな支援を充実》
- ⑭そろばん学習・道徳・食育学習・プログラミング教育・ウェルカム赤ちゃんの実施
- ⑮外国人児童生徒支援の拡充
- ⑯東京オリンピック・パラリンピック開催に合わせた国際理解の促進
- ⑰岩田こども園の民営化、園舎建設



ながふじ学府一体校(イメージ)

(2) 図書館と文化財

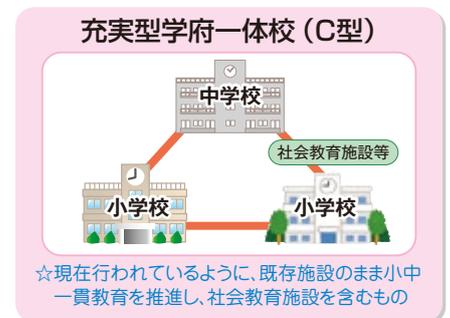
- ①電子書籍サービスの充実
- ②読み聞かせ等のボランティア、視覚障害者サービス協力員の育成
- ③地域に根差した各図書館の特色づくり
- ④文化財保存活用地域計画策定に向けた調査
- ⑤遠江国分寺跡(国の特別史跡)の整備《木装基壇や燈籠の復元、四阿等の建設に向けての設計及び環境整備》
- ⑥開発事業(店舗建設、こども園、道路改良事業等)に伴う遺跡の発掘調査及び整理作業
- ⑦旧見付学校附磐田文庫(国の史跡)保存活用計画策定に向けての調査
- ⑧歴史文書館企画展等のイベントの開催
- ⑨古文書ボランティアによる古文書解読作業



読み聞かせの様子

3. これからの課題

①学府一体校の推進



- ②幼児教育と学校教育の一層の理解に基づいた円滑な接続の推進
 - ③図書館資料の充実と中高生・高齢者の利用の促進
 - ④文化財関連施設・史跡等の適切な維持管理と利活用の推進
 - ⑤学校給食施設のあり方の検討
 - ⑥いじめ・不登校・児童虐待など、学校安全調査等を利用した積極的対応
- ⇒ 子ども一人一人の「いのち」を大切にしていきます。

編集／磐田市教育委員会
教育総務課 総務グループ
〒438-8650 静岡県磐田市国府台3-1
TEL.0538-37-4821 FAX.0538-36-1517
kyoikusomu@city.iwata.lg.jp
発行／令和2年4月